

『点のとり方』セミナー

受験ドクターグループの「東大ドクター」主催のセミナー。

毎年100名しか合格できない日本最高峰難度の入試パスした東京大学理科三類生を招聘し、
「日本一効率の良い点のとり方」について語り合うシンポジウムです。

質疑応答でガンガン彼らに質問をぶつけて、

合格答案作成能力の育成のヒントを掴んでください。

Check

下記のような「希望・質問・お困りごと」のある中高生の方、その保護者の方が対象です

- 鉄緑会での生き残りかたを知りたい
- 平岡塾とSEGで迷っています
- 中高一貫校生。定期テストで学年上位をとりたい
- 医学部をめざしています。入試戦略を知りたい
- 第一志望は東京大学。大学入試改革もあり、不安
- 旧帝の理系志望。日々の学習方法は?
- 早慶上智文系希望。選択教科は何が有利?

東京大学理三チームとは

現役東京大学理科三類の学生による精鋭講師集団です。受験ドクターグループの「東大ドクター」在籍講師陣。

**指導のプロもかなわない。
「テストで点をとるプロフェッショナル」軍団。**

テストで良い成績を修める人が教えることに長けている、とは限りません。「指導できること」と「自分ができること」は、必ずしもイコールにはならないのです。
さて、ご存じ、東京大学理科三類。入学者の実に95%が将来医学の道に進む、日本最難関の偏差値を誇ります。彼らは、全国模試で常にTOP100を占めてくる学力の猛者たち。
で、先のお話。「彼らは指導のプロではないんですね?」はい。
でも、彼らは、どんな指導のプロもかなわない、いわば「テストで点をとるプロフェッショナル」なのです。

**プロ野球選手になるより難しい?
理三生のなりかた**

大学受験生は、年間約50万人。うち、TOP100に入るその率は、高校球児約5万5千人+大学野球人口約3万人の合計8万5千人からプロになる年間70名の率よりもはるかに低い。つまり、プロ野球選手になるよりさらにさらに狭き門を潜り抜けてきた彼らは、「点のとりかたを誰よりも知っている」プロなのです。
彼らが持っている点のとりかた、モチベーション維持の方法、苦手克服のノウハウを学ばないのは、勉強人生において大きな損失ではないでしょうか。
さあ、彼らの多彩な「点のとりかたの引き出し」を次々に開けましょう。今回の機会を逃さず、受験勉強のノウハウをつかみに代々木まで足を運びませんか?

**受験勉強の優れた
トリップアドバイザーです**

私たち講師は、お子さんにずっと伴走し続ける存在ではありません。いつかは生徒さんは、みずからの頭で問題を整理し、課題を発見し、解決を図ってくことになります。ですから、受験ドクターの辞書に「せる・させる」という使役の助動詞はありません。学び方、セルフコントロール、成功するための習慣。それらを具体的なノウハウとして伝授するには、東京大学理科三類の学生講師は、うってつけの存在です。私自身、彼らと話す中で、学業で功を成すための考え方やコツが見えてきて、学び方を変えたことも。子育ての最中に彼らの話を聞くことができたらどれほど益になったことでしょう。
これから世界はパラダイムシフトしていきます。既存の思考の枠組みが解体され、人工知能が台頭してきたとしても、変わらぬ人類の叡智は、「学び続け、応用させ、思考の変革を起こすこと」以外にはありません。



東大理三ドクター 責任者 春野 陽子

この「学ぶ」ことのエキスパートとして、よき先輩として、東大理三チームの講師陣を受験勉強のトリップアドバイザーとして活用してください。
優れた活用方法は、とにかく彼らに質問をぶつけること。彼ら自身が気づいていない希少な得点力アップのためのノウハウを引き出すこと。叩けば、開かれるのが彼らの知。
ぜひ奥深い知の深淵を、その広がりを、彼ら講師陣とともに覗いてみてください。志望校合格の必勝法は、必ずそこに見つかります。